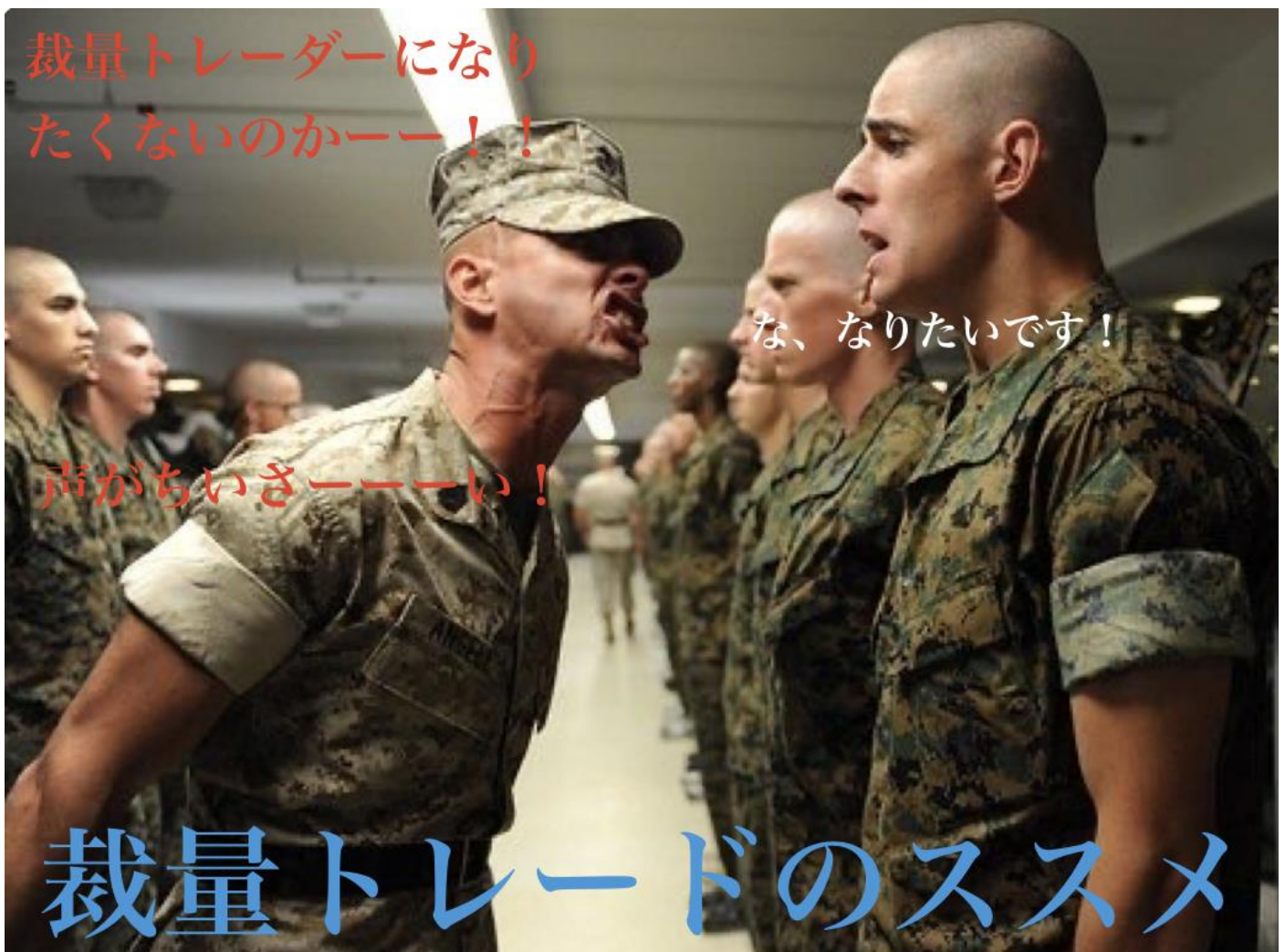


裁量トレーダーを目指す方へ贈る

# ライントレードの極意

～曲がった根性を叩き直す～



著者：ベシスト FX 手法研究家 Kou

# 著作権について

- ・このレポートは著作権法で保護されている著作物になります。
- ・著作権はベシスト FX 手法研究家 Kou に属します。このレポートの開封によって以下の点に同意した事になります。ご注意ください。
- ・あなたが、このレポートに含まれる情報を、著者の許可を得ずに出版・メディア発信等で一般に公開することを禁止します。  
特に当レポートを第三者に渡すことは厳しく禁止します。
- ・当レポートの情報は作成時の著者の見解です。著者は事前に断りなく、情報の最新化、訂正を行う権利を有します。
- ・当レポートを利用し、生じた結果について損失が発生しても著者は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

# 目次

0章 はじめに

1章 そもそもライントレードって何？

1-1 ラインの種類

1-2 何でラインを引くのか？

2章 水平線の引き方について

2-1 分かりやすい高値や安値

2-2 じゃあ、分かりやすい高値や安値ってどこよ？

2-3 高値や安値に引く理由

3章 トレンドラインについて

3-1 トレンドラインってどんなもの？

3-2 トレンドラインの引き方

3-3 角度の違うトレンドラインを引く意味

3-4 ラインの引き直し方

3-5 トレンド転換をいち早くキャッチ

4章 チャネルラインって？利益の伸ばし方が見えてくる

5章 ラインは綺麗には止まらない

6章 相場の優位性について

7章 注文の集中について

7-1 注文の集中の重要性

7-2 ラインで注文の集中をどう判断するか？

8章 エントリーの考え方

8-1 テクニカル分析は何のためにする？

8-2 デイトレなら1日の動くところを取れば良い

8-3 基本的なエントリー

8-4 レンジは絶好のチャンス

8-5 レンジでの分かりやすいラインの引き方

8-6 エントリーの条件と注意点

9章 伸びるかどうかの判断

10章 まとめ

## 0章 はじめに

トレードで稼ぐには、どうすれば良いか？

その為には何がなんでも**勝たなければなりません。**

それなのに、

- ・ギャンブルトレードを繰り返す。
- ・成績が不安定
- ・感覚的に考える。

といった事をしていて勝てるはずがありません。

トレードをする目的は「**稼ぐ**」事

- ・トレードを楽しみたい
- ・テクニカル分析するのが楽しい
- ・セミナーに参加するのが楽しい
- ・ギャンブル感覚で一喜一憂したい。

**そういうものではなく、「稼ぐ」という目的以外は無いはず！**

トレードで大切なのは、一時的に稼ぐのではなく  
稼ぎ「続ける」こと。

そのためには、

勝てるトレードだけを狙い、勝つ習慣を身に付ける必要があります。

トレード成績を安定させたいのなら  
ラインを引く力は絶対に必要！！

過去検証も大切ですが、リアルチャートで相場の先を予測し、その上で結果を出さなければなりません。

後付けではなく、先出しで相場を捉えられる考え方を身に付けていただきます！！

僕の裁量トレードは、ラインによるテクニカル分析をメインに考えているので、それをお伝えしていきますね^^

もし、今のあなたが

- ・水平線の引き方が全く分からない。
- ・狙う方向の決め方が分からない。
- ・押し目買いや戻り売りが分からない。

っていう状態なら事前に必ずこれらの記事に目を通しておいて下さいね。

↓↓

[・水平線の引き方](#)

[・狙う方向の決め方](#)

[・押し目買いやトレンドフォローの方法](#)

人は忘れていく生き物です。

何度も読んで基本的な考え方について正しく理解しておいて下さいね。

# 1章 そもそもライトレードって何？

ライトレードは様々なラインを使い、そのライン付近での値動きを見てトレードしていくものです。

ライトレードへの理解が深まれば、

後からチャートを見て、「ここにラインが引けるんだ！」ではなく、

「このラインを根拠に、こうやってトレードするぞ！」と、

リアルな値動きの中で、優位性の高いポイントを見つける事が出来ます。

しっかり学びトレードに役立てていきましょう^^



## 1-1 ラインの種類

- ・水平線
- ・トレンドライン
- ・チャネルライン
- ・フィボナッチリトレースメント(インジケーター的なもの)

などがあります。

ラインはトレードの基本、テクニカル分析の基本です！！

でも、

- ・引き方がいまいち分からない。
- ・引いても使えていない。
- ・何となく引いたラインで何となくトレード。

みたいに、

ラインを疎かにしているからいつまでもトレードが不安定で、ギャンブル感覚でトレードしてしまいます。

勝ちたいのであればライントレードは絶対に習得すべきスキルです。

## ライトトレードを習得すれば

- ・勝つべくして勝てるトレードが自然と出来る。
- ・当たり前のように勝てる。
- ・成績が安定すれば、メンタル的への負担が少ない。
- ・ロットも張れるようになる！
- ・複利効果でバンバン増やせる！

こういったことが、当たり前のように出来るようになってきます！！

想像したらワクワクしませんか??

きちんと理解し、無意識に刷り込まれるぐらい努力を惜しまなければ、こういった事が自然に出来るようになっていきます^^

1つ1つ丁寧に読み進めて下さいね。

## 1-2 何でラインを引くのか？

### ① 注文の集中を見る為

ラインを引けば注文の集中が分かる。

これでトレードする場所。決済する場所。伸びる場所が見えてくる。

注文が集中するからラインが意識され、強いラインが生まれる。

### ② 価格帯を分ける為

トレードや売買の基本中の基本で、

安く買って高く売る。

高く売って安く買い戻す。

そういった価格帯を分けるという認識を持って下さい。

価格の高い所や安い所を知ればリアルチャートで生きたラインを引けるようになる。

### ③ 環境認識のため

ラインによってエリア分けをする。

これが出来れば、

・買いが強い所

・売りが強い所

が見えるので、

根拠を持ってポジションをキープしたり、決済に役立てることが出来ます。

(エリア分けしていても、それと反対方向に急に動く事はあるけど、  
そういった**イレギュラーな値動きに飛び乗らなくなる！！**)

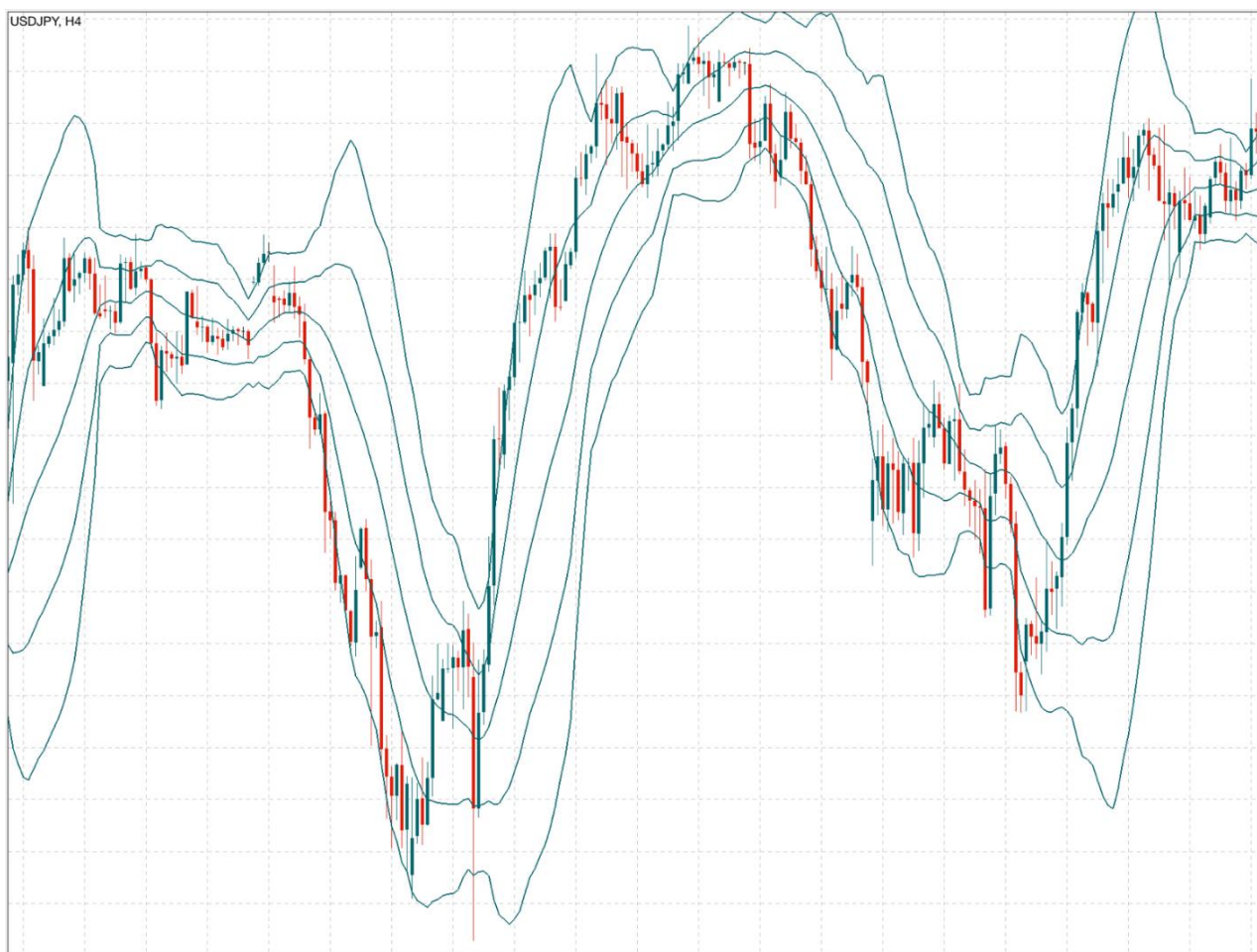
飛び付かずに待てる時点で、簡単に初心者からは抜け出せるよ。

では順次解説していきますね。

## 2章 水平線の引き方

引き方にはいろいろあるけど、**機能する引き方**についてまとめます。

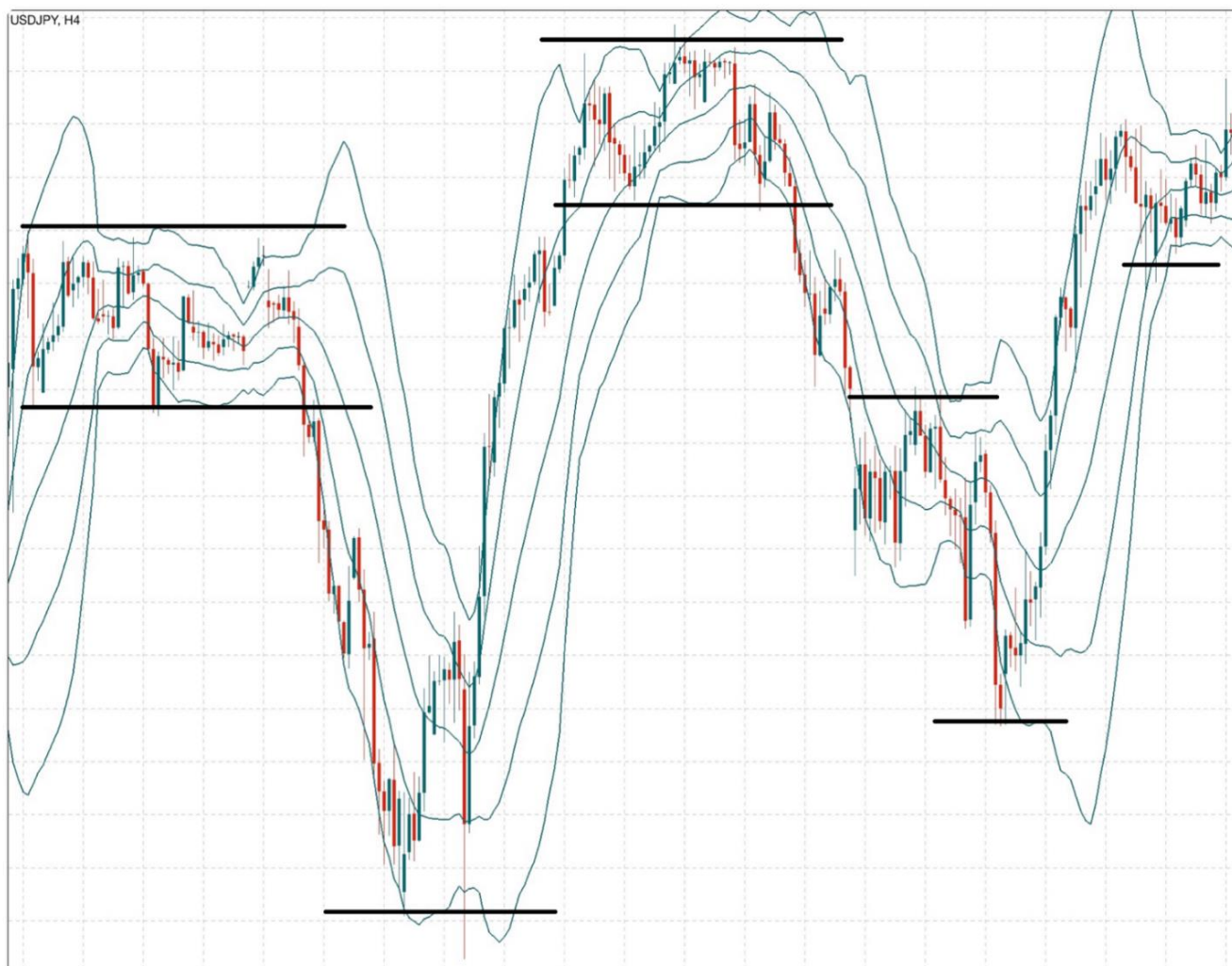
### 2-1 分かりやすい高値や安値に引く



↑ ↑ こんなチャートならどこに引きますか？

分かりやすい高値や安値は

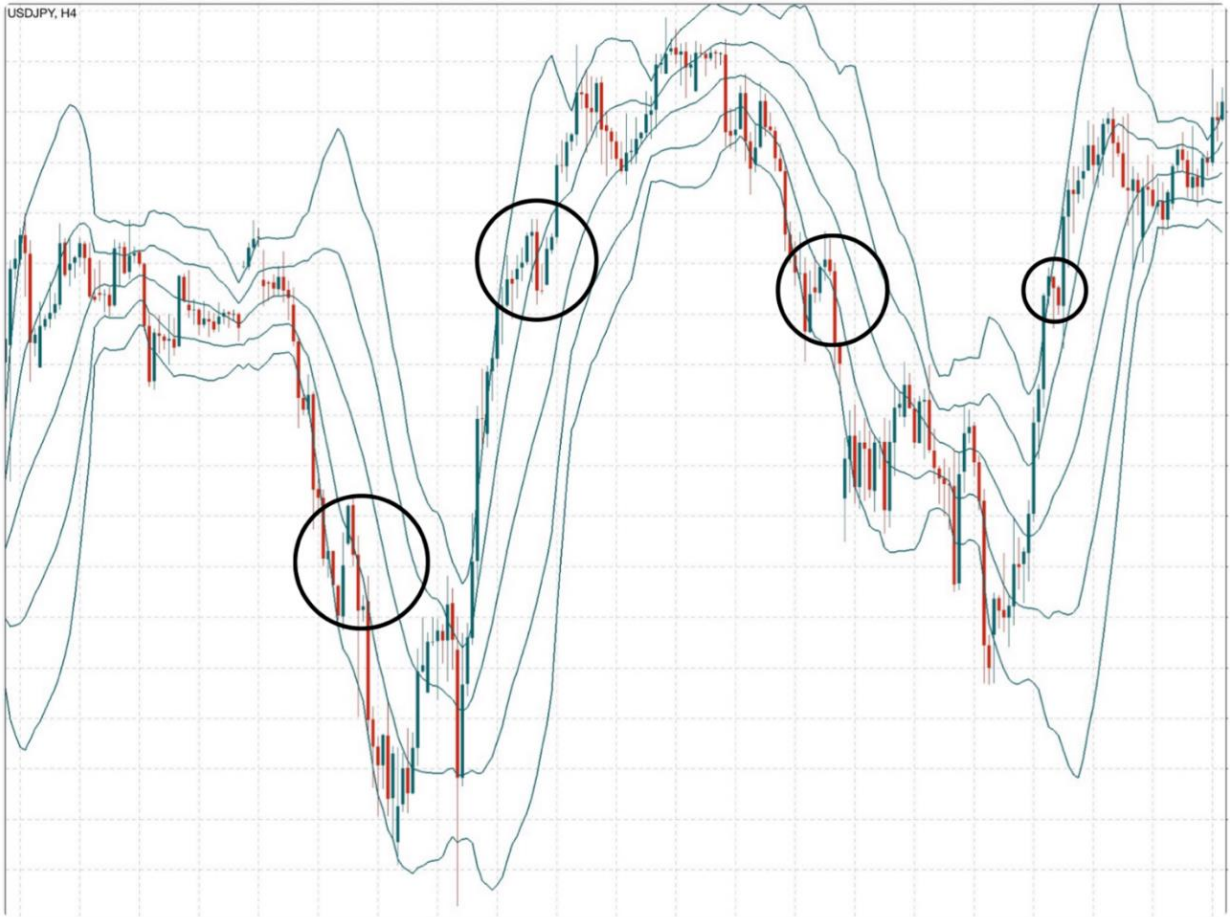
↓↓



こんな感じ。

で、

↓↓意識して欲しいのは



こんな風に

ローソク足 1 本から数本程度の小さな波の部分を高値  
や安値として認識しない！って事。

何せ分かりにくいから。

分かりにくければ誰も付いてきません。

意識されやすい水平線を引くなら

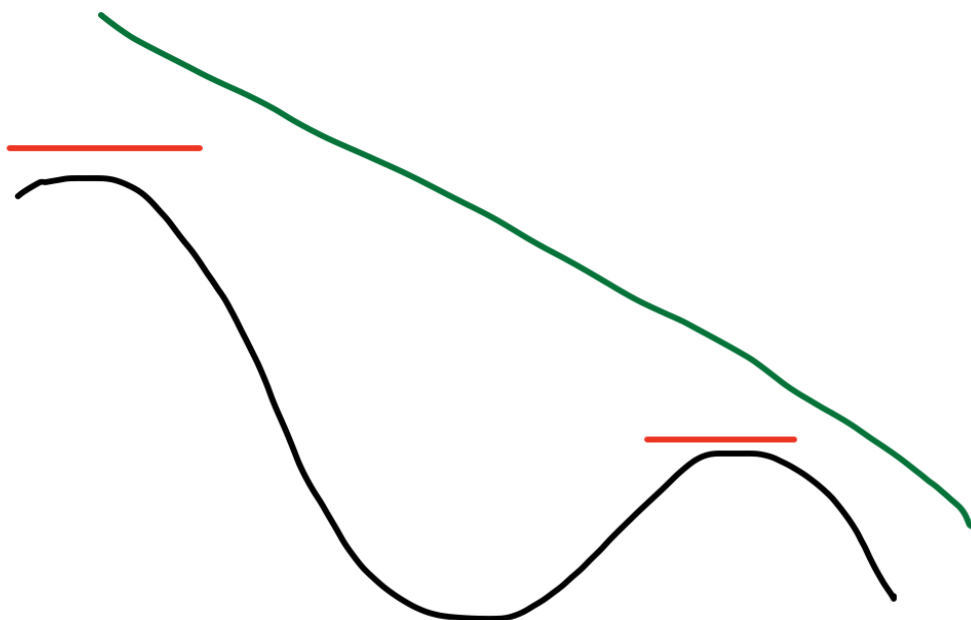
比較的大きな流れで高値や安値を認識するべきです。

インジケーターを使って高値や安値を認識するなら、

インジケーターの波を、高値や安値の波と捉えても良い。

それぐらいゆったりと考えて下さい。

↓↓概念としてはこんな感じ



移動平均線に波が出来ると高値や安値を  
認識しやすい



このように下降トレンド中に黒ラインの移動平均線が波打っている所  
を高値や安値として認識

チャートで見てみると、

↓↓



これぐらいローソク足の本数がある方が認識されやすい。

ゆったりした高値や安値は、将来的に有効に反応しやすいので、くれぐれもローソク足 1 本で高値や安値を決めつけないうちに！！

ローソク足 1 本だけで高値や安値として認識できるのは、超短期足だけです。

1 時間足チャートでローソク足 1 本なら、

15 分足では 4 本(あまり強い根拠にならない)

5 分足(そもそも根拠が弱い)では 12 本(意識されるかな?程度)

出来れば、1 時間足でしっかりと認識できる所を探すようにして下さいね。

## 2-2 じゃあ、分かりやすい高値や安値ってどこよ？

一言でまとめると、上位足でも認識出来る高値や安値。

これによって、より多くの人々が認識出来る。

具体的に言うと、

- ・1時間足に水平線を引くなら、4時間足でも認識出来る高値や安値
- ・15分足に水平線を引くなら、1時間足でも認識出来る高値や安値
- ・5分足に引くなら、15分足で認識出来る高値や安値

トレードする時間足にだけ引いても、そのラインをより多くのトレーダーが認識しないことには反応しない。

「トレンドライン引いたし、反応するでしょ！！」

ではなく、

「このラインなら、たくさんの人が見てるはず！」っていう所を意識して**客観的**に見て下さい。

長期足で認識出来れば出来るほど良いからね。

## 2-3 何故、高値や安値に引くのか？

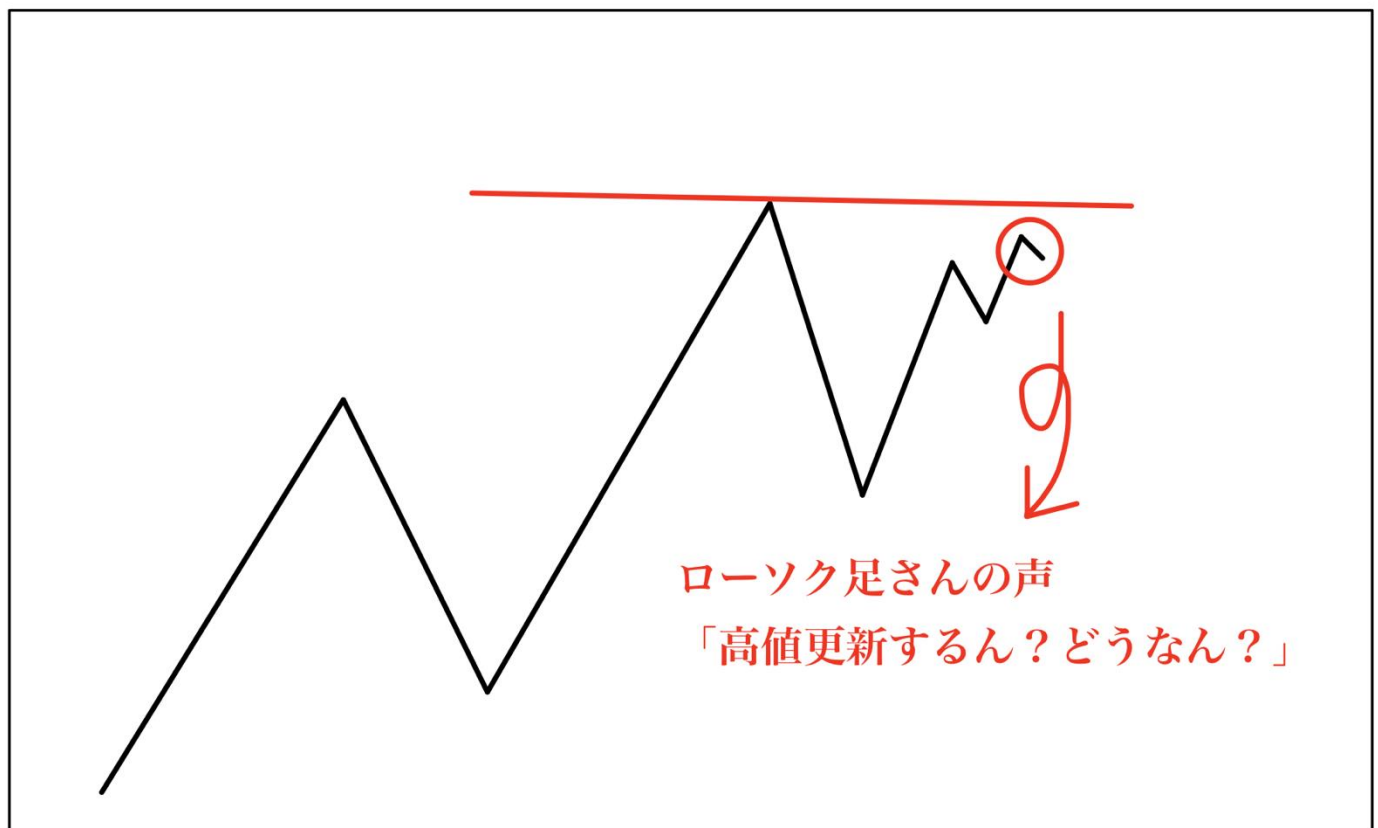
① 注文が集中しやすい。

例えば、

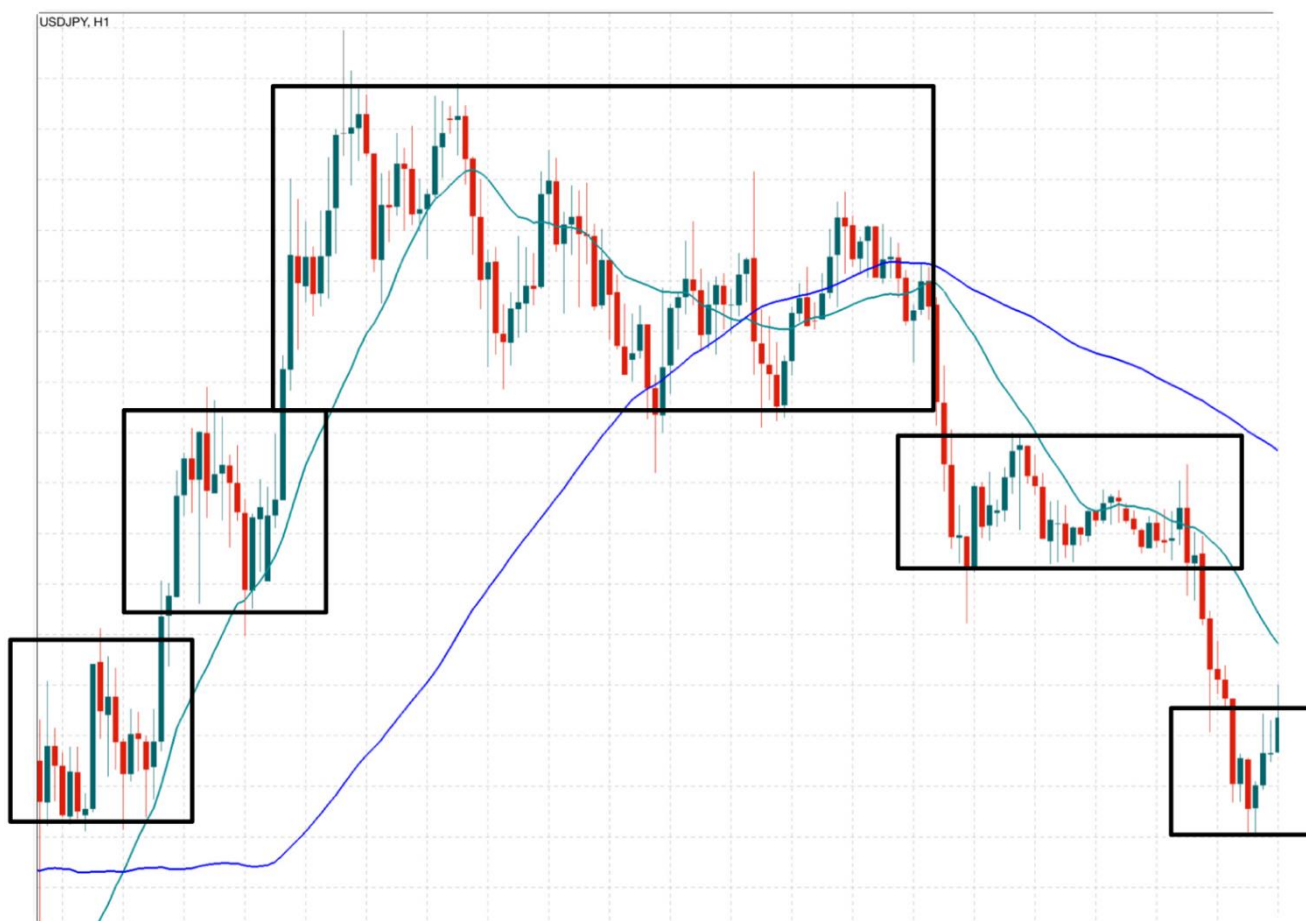
高値越えには新規買い注文や決済の買い注文が集中。

安値割れには新規売り注文や決済の売り注文が集中してくる。

② 過去の高値や安値の更新はダウ理論で意識される  
(トレンドが継続するかどうか？の重要なライン)



高値や安値を認識しやすくする為にボックス状の塊としてチャートを見る。



相場の動きはこのように、ある一定の値幅を持ちながら、それぞれの価格帯へ推移していきます。

四角で囲んだボックスを意識すると、ボックスの上下あたりでよく反応しているのが分かります。

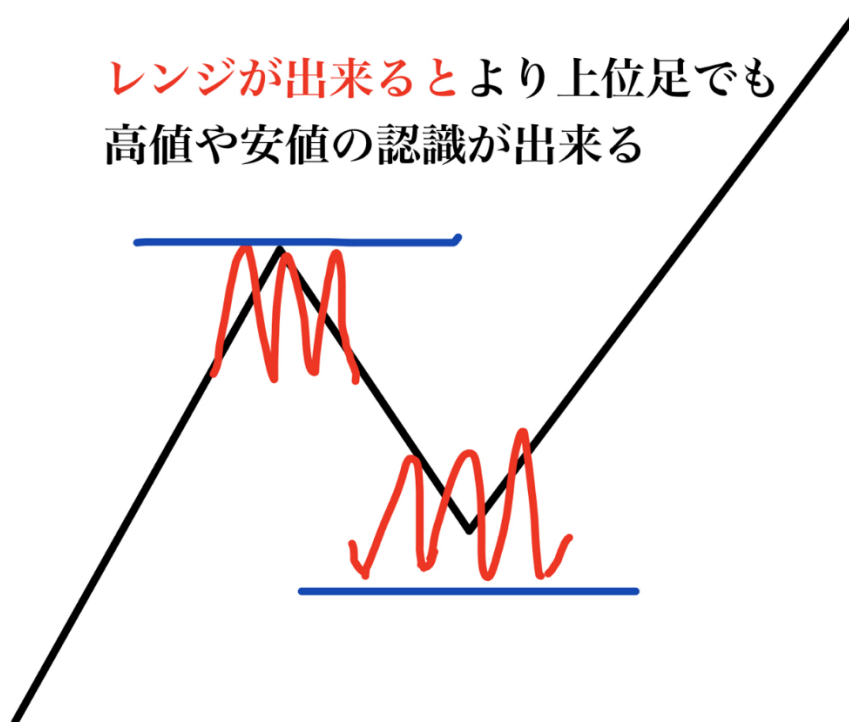
こういうラインは将来的に反応してくれます。

何でこれが反応するか？というと、

ある程度の期間、揉み合ってるからです。

意識されるから揉み合ったのではなく、揉み合った痕跡・事実があるから意識されます。

↓↓ 図で説明すると、



こんな風に

揉み合う事で上位足でも高値や安値として認識されやすくなります。

- ・15分足でボックスが出来れば1時間足でも認識される。
- ・1時間足でボックスが出来れば4時間足でも認識される。

ボックス状の塊を捉えやすくするには、

ボリンジャーバンドのスクイーズの上下にラインを引く。

同じ価格帯で、ある程度揉み合えばスクイーズが確認できるので、スクイーズが確認できればボックスが確認できて、

上位足でも高値や安値を認識されやすくなります！

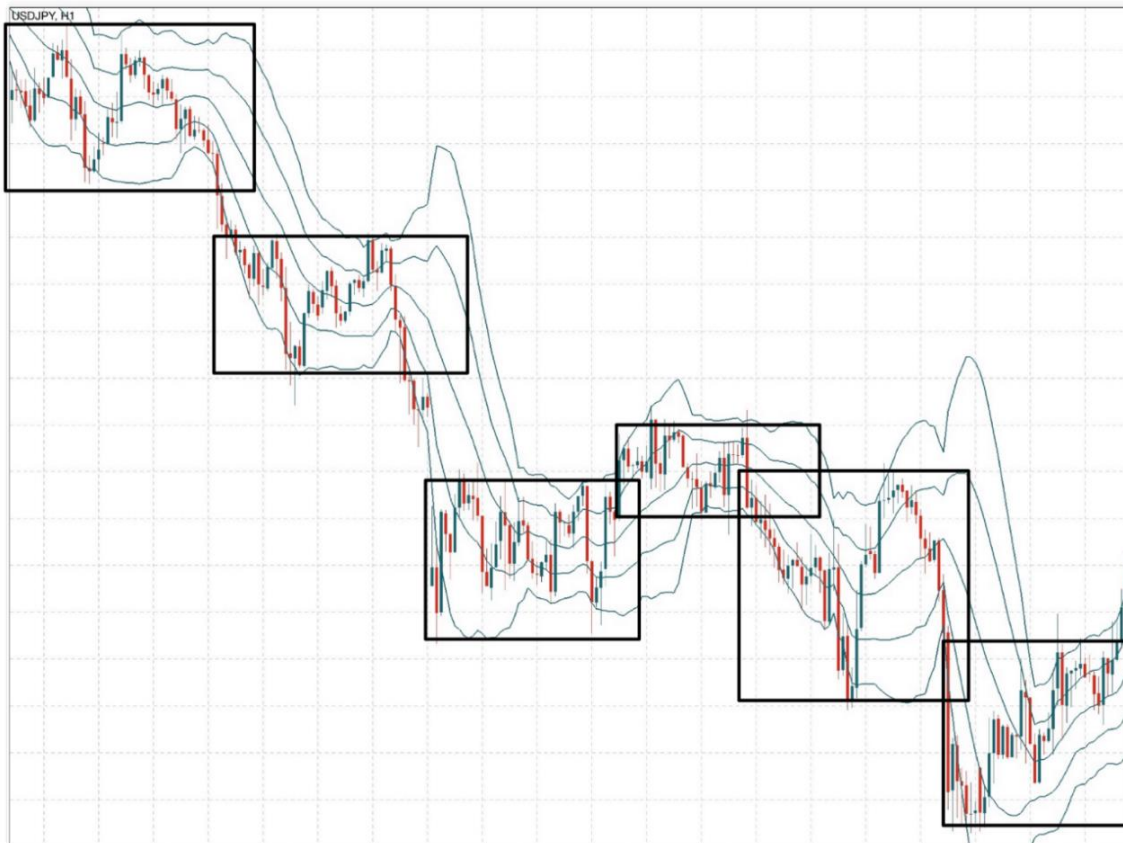
↓↓こんなチャートなら



こんな風に見えます。



このスクイーズを見ると、



こんな風にボックスを認識出来ます。

ボリンジャーバンドによるボックスの認識は

**視覚的に分かりやすい**方法なのでおすすめです！！

ボックスを認識しにくければ、ボリンジャーバンドをサポート的に使ってみてくださいね^^

## 3 章トレンドラインについて

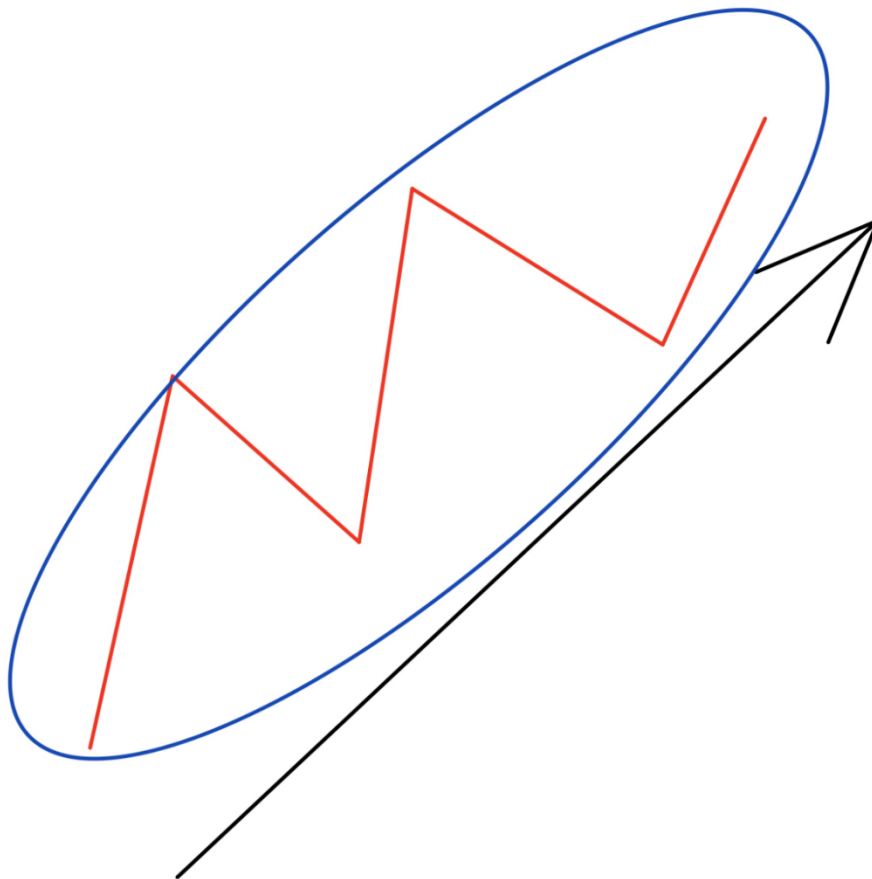
## 3-1 トレンドラインってどんなもの？

①トレンドの方向を見るもの。

→現在の方向が分かり、ポジションを取るべき方向が分かる。

常にトレンドラインの方向に沿ったエントリーを意識するだけで無駄なエントリーが減る。

何が何でも売りを考える場所じゃない



②注文の集中が分かる。

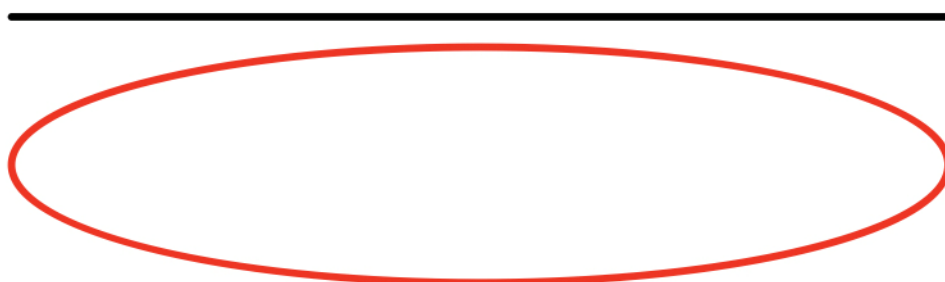
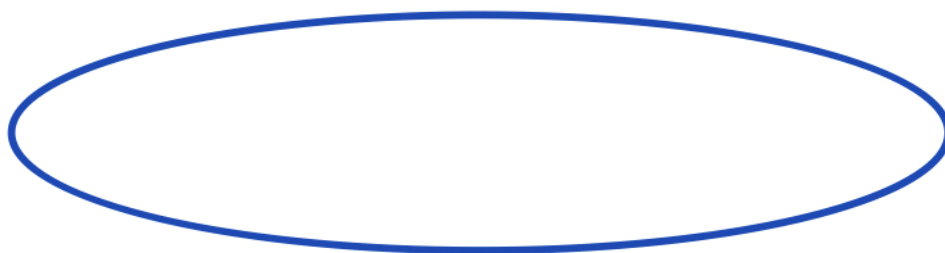
→どこに注文が集中しているか？

どこでトレードすべきか？が分かる。

(トレンドラインだけを根拠にトレードするのは弱い)

具体的にどこに注文が存在するかと言うと、

**水平線の上には買い注文**



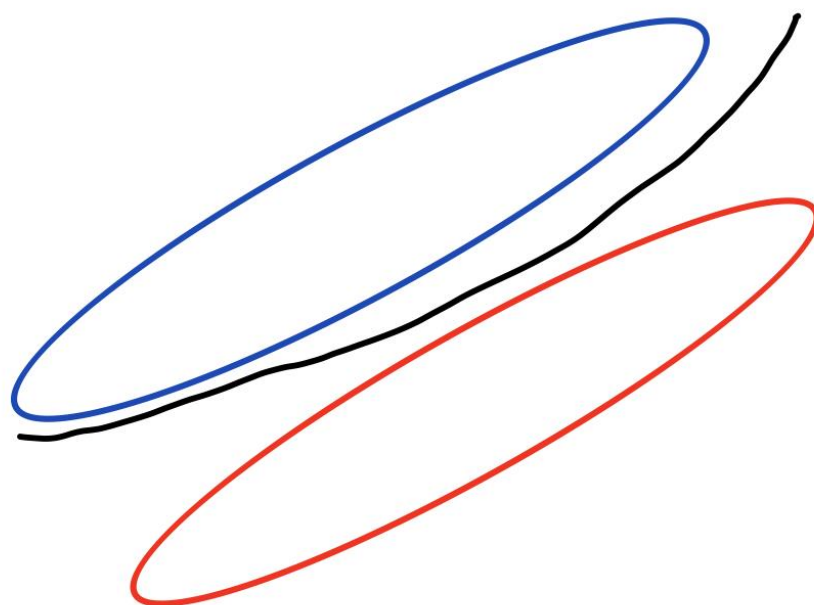
**水平線の下には売り注文**

トレンドラインの上には買い注文



トレンドラインの下には売り注文

移動平均線の上には買い注文



移動平均線の下には売り注文

基本なので、必ず覚えて下さい。

ラインの上には買い注文  
ラインの下には売り注文

インジケーターに関してもトレンドラインと同様に

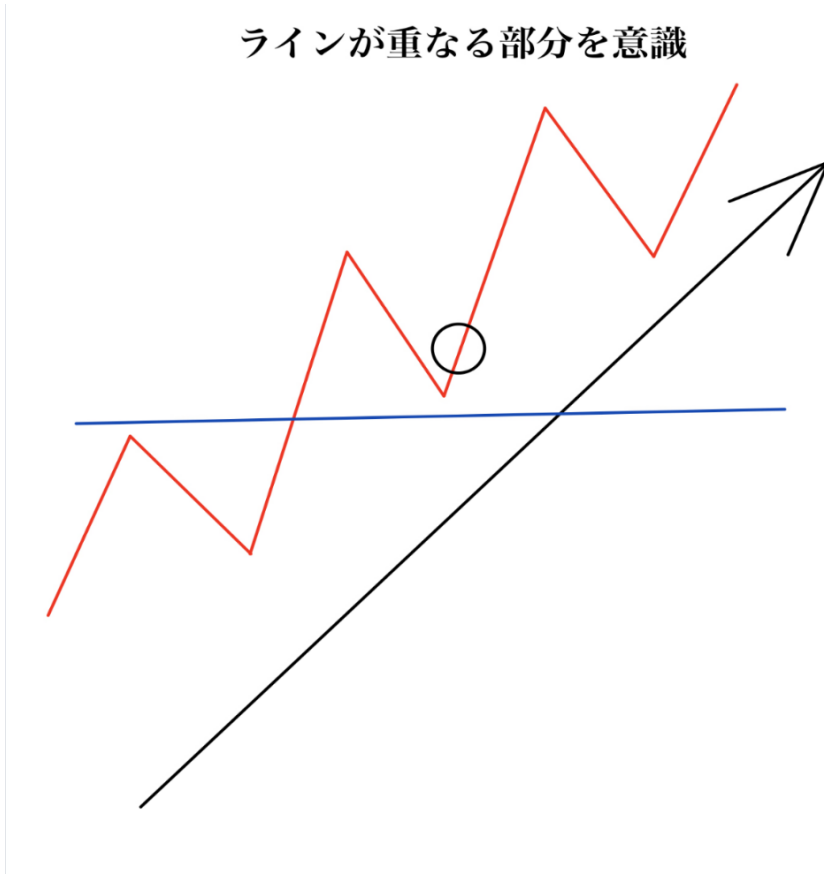
- ・上に買い注文。
- ・下には売り注文

が存在すると考えて下さい。

トレンドラインやインジケーターだけでは根拠が弱いので、  
これらを使ってトレードする場合は極力

水平線が重なる部分を意識して下さいね。

ラインが重なる部分を意識



ラインが重なってくると、

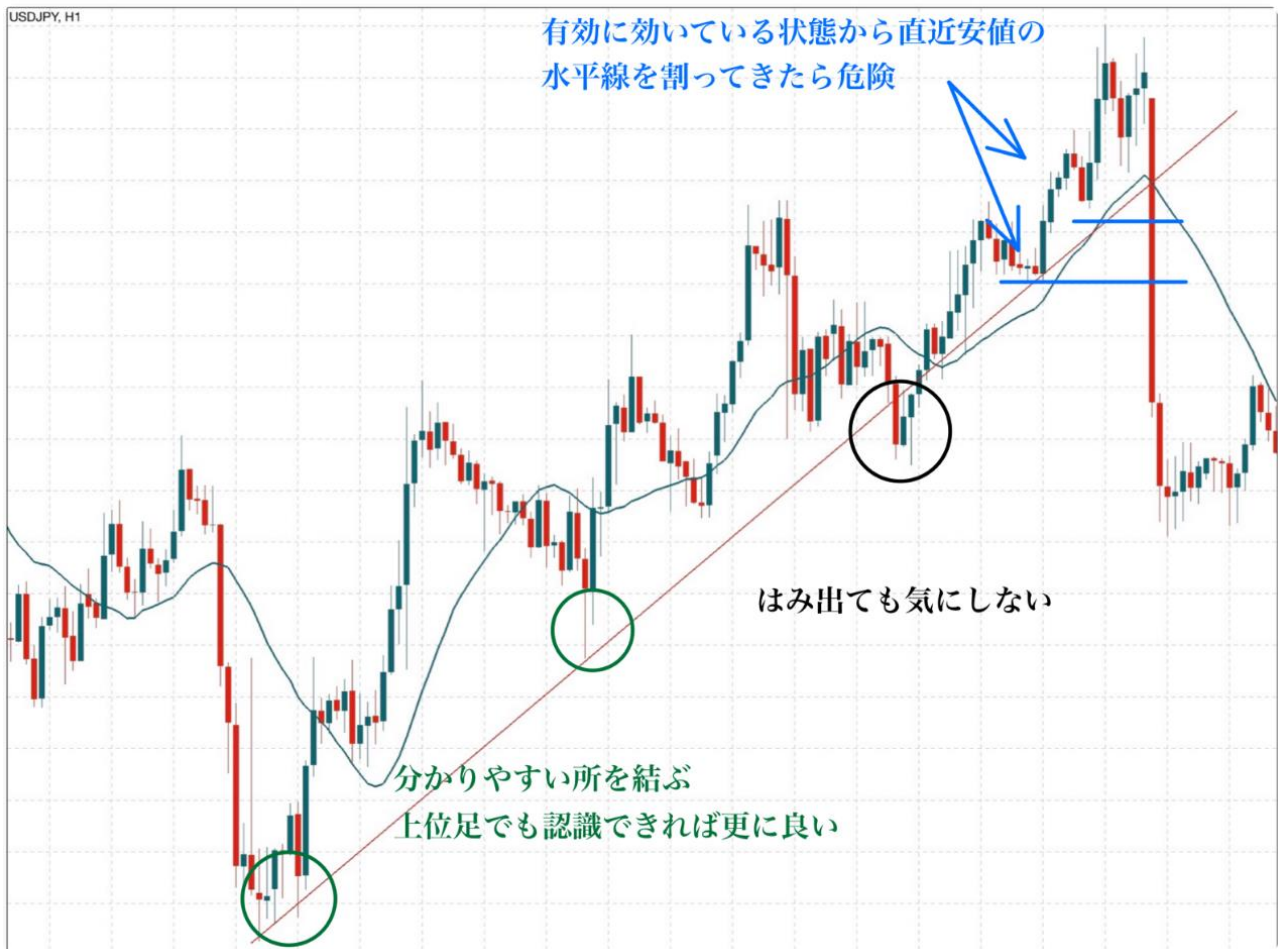
- ・水平線だけでトレードしているトレーダー。
- ・トレンドラインだけでトレードしているトレーダー。

がそれぞれエントリーしてくるので、その分ラインが意識されて強くなっていきます！

同様に、**根拠は重なれば重なるほど強くなる**ので、くれぐれも根拠が**1つ**だけでトレードしないように気を付けて下さいね^^

## 3-2 トレンドラインの引き方

実際のチャート画像でトレンドラインを引くなら



↑ ↑

こんな感じで、

ゆったりとした波に対してトレンドラインを引くように。

意識するのは、

### ①上位足で認識できる 2 点を結ぶ事

→超重要！必ず守って！

15 分足に引くなら 1 時間足でも認識出来る所。

1 時間足に引くなら 4 時間足でも認識出来る所。

そういった所に引く習慣を付けて下さい。

### ②ラインから少々はみ出てもスルー

→必ずトレンドラインが効くと考えない。

大きくはみ出るようであれば引き直しますが、

あくまで方向感を見るものという認識でいて下さい。

### ③角度が急になり過ぎないこと

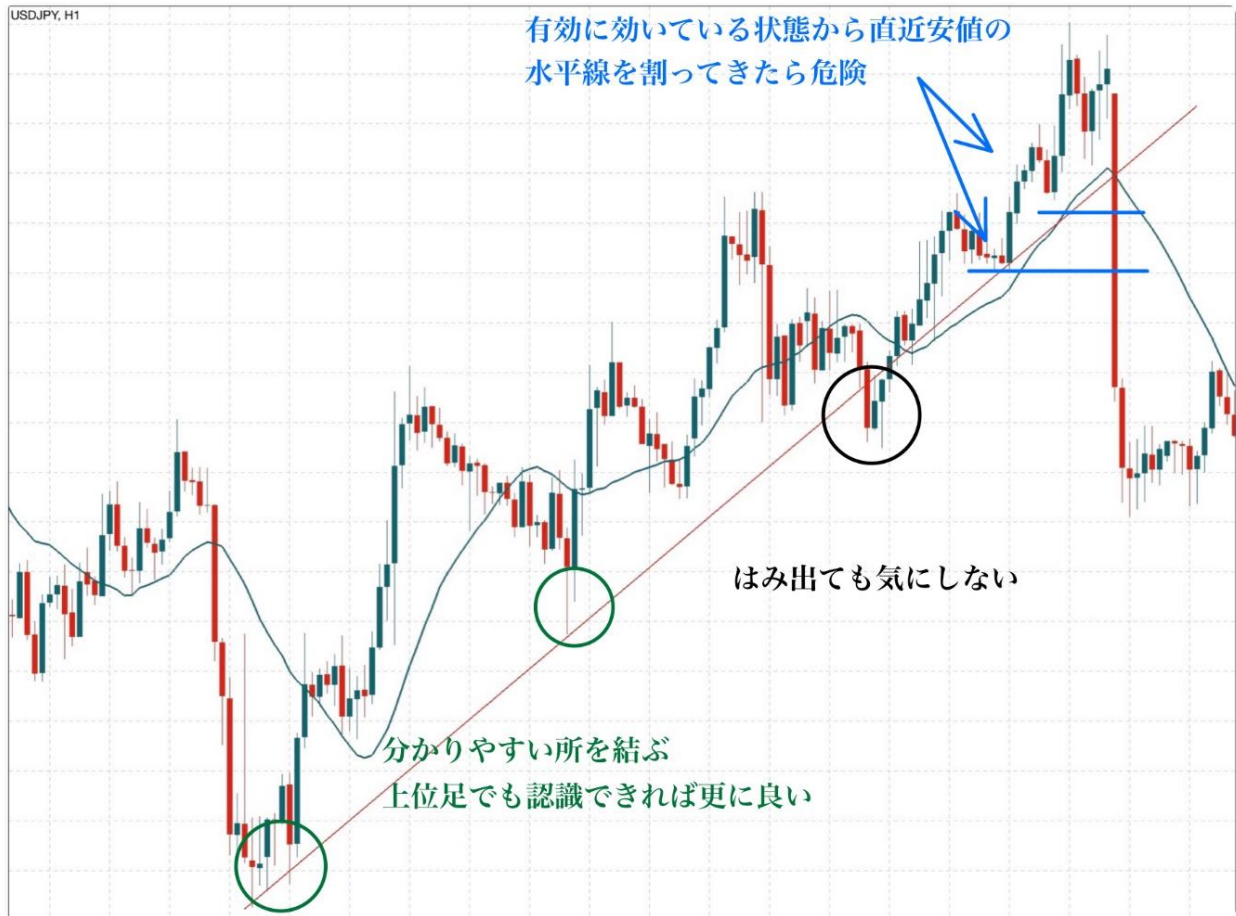
→急過ぎる時は有効に働く期間が短い！！

急騰の場合は急落が待ってるから飛び乗るのは危険です。

出来るだけ客観的に、多くの人々が認識するものを意識して下さい。



もう 1 回同じ画像を出します。



画像のように上昇トレンドの場合、

“最近安値”という水平線を割らない限りは上昇トレンドが継続しているので、少々トレンドラインからはみ出たとしても気にしなくてOKです。

逆に言えば、トレンドラインを割って、さらに最近安値を割ってしまうと一気に下落する可能性があります。

一気に下落しない場合でも、直近安値を割った時点で上昇トレンドは終了と認識します。

なので、安値を割った後に再度上昇がみられても、高値を切り下げ始めると、下降トレンドが発生する可能性があるので注意が必要です！！

上昇トレンドの場合は直近安値割れが、  
下降トレンドの場合は直近高値越えが、  
トレンドの終了の予兆です。

そのラインが

- ・レジサポ転換ライン
- ・分かりやすい高値や安値

と重なっていると、より根拠が強くなります。

くれぐれもトレンドライン割れや、トレンドライン越えだけで飛び乗らないように注意して下さいね。

### 3-3 角度の違うトレンドラインを引く意味



最安値を確認できた後、上位足でも認識できるぐらい

ゆったりした波で安値が切り上がってくれば、

その、ゆったりとした2点をまず結びます。

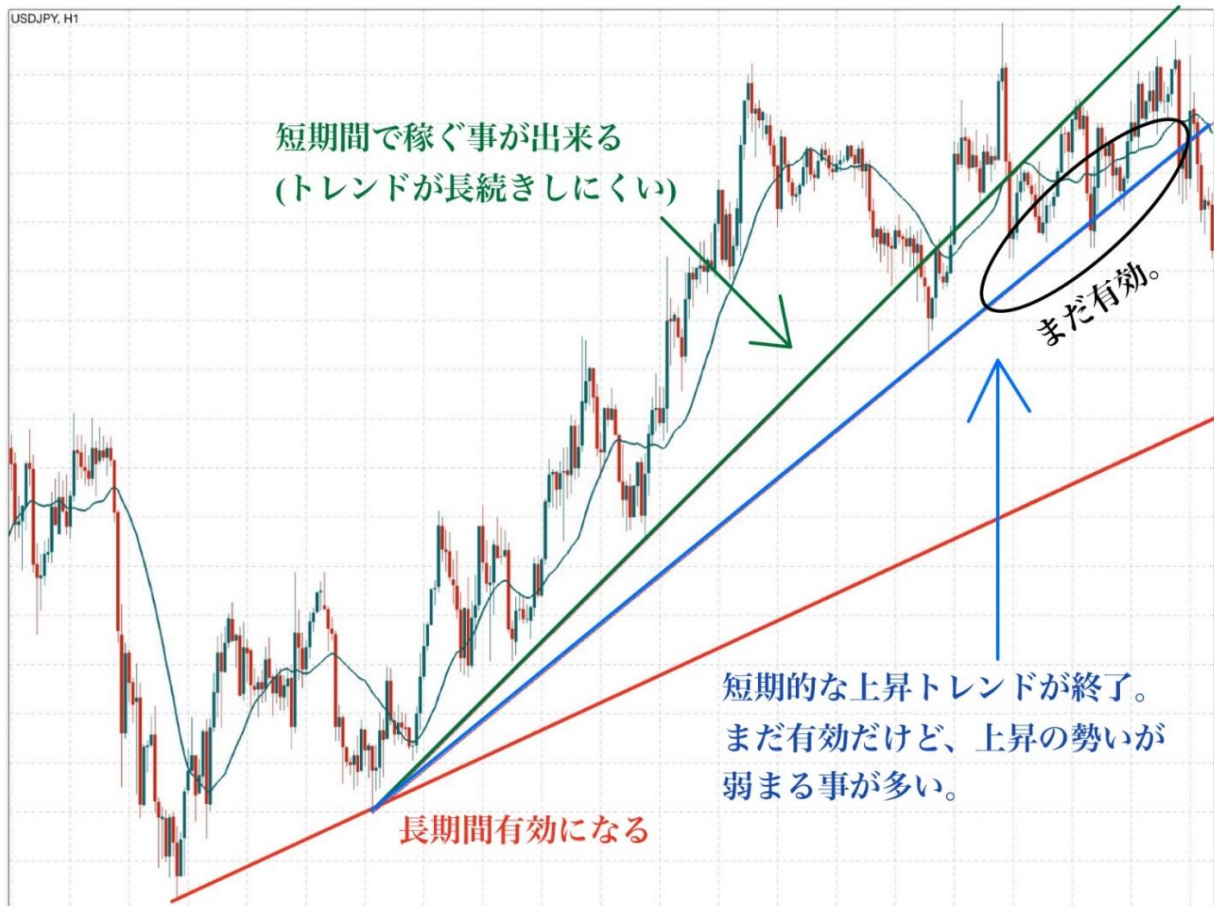
ゆったりとした波なら上位足でも認識できるトレンドラインになるので、のんびりと**長続き**します。

その後によくみられる動きなのですが、  
**急にトレンドラインの傾きがキツ**くなり、トレンドが**加速**します。

トレンドが加速すれば**一気に値幅が出る**ので、短期間で稼ぐことが出来ます。(エリオット波動の3波に相当することが多い。)

ただ、ゆったりしたトレンドと比べると、加速したトレンドの継続時間は短くなります。

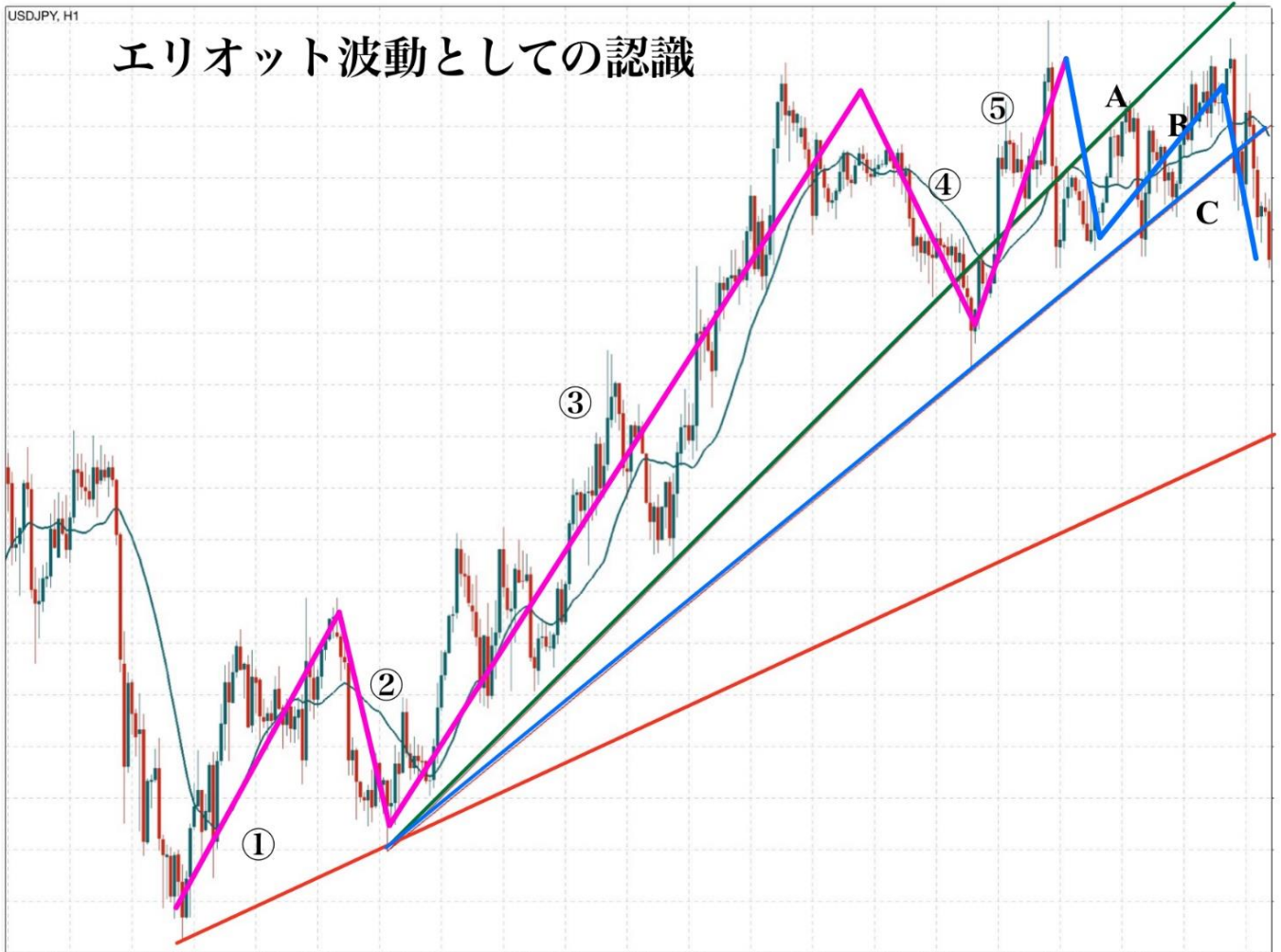
**長く持ち続けるものではない！**という認識はして下さいね。



加速したトレンドラインを割ってきても、明確な安値があれば、青のトレンドラインを引け、トレンド自体はまだ継続。

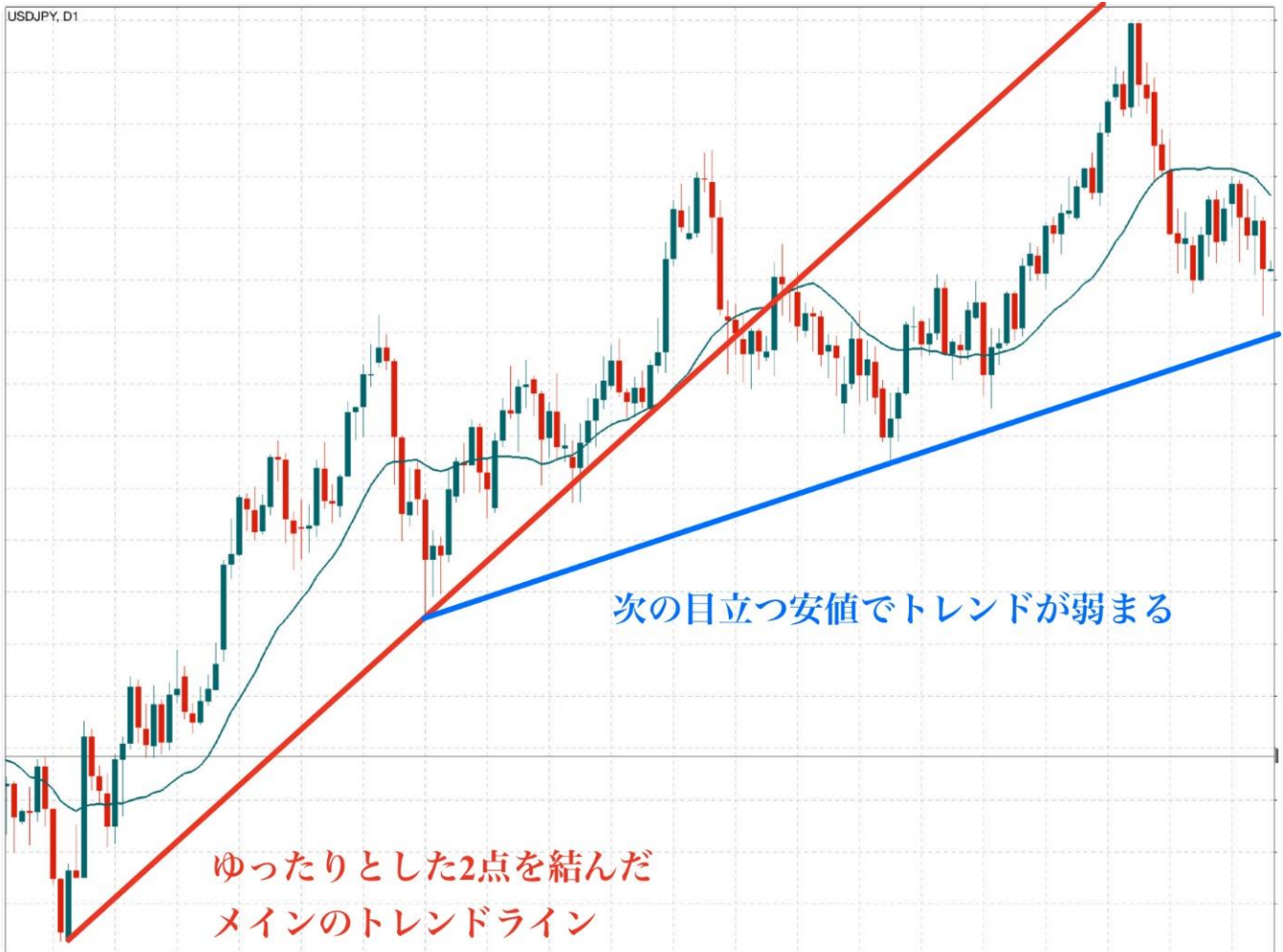
でも、値幅は小さくなり、

エリオット波動の 5 波～調整波に相当することが多くなります。



これとは逆にトレンドラインの傾きが浅くなる場合もあります。(勢いが弱まるパターン)

このパターンは、特に大きな時間足で出現するほど影響力が大きいです。



この勢いが弱まるパターンは上位足の環境認識をする上で、

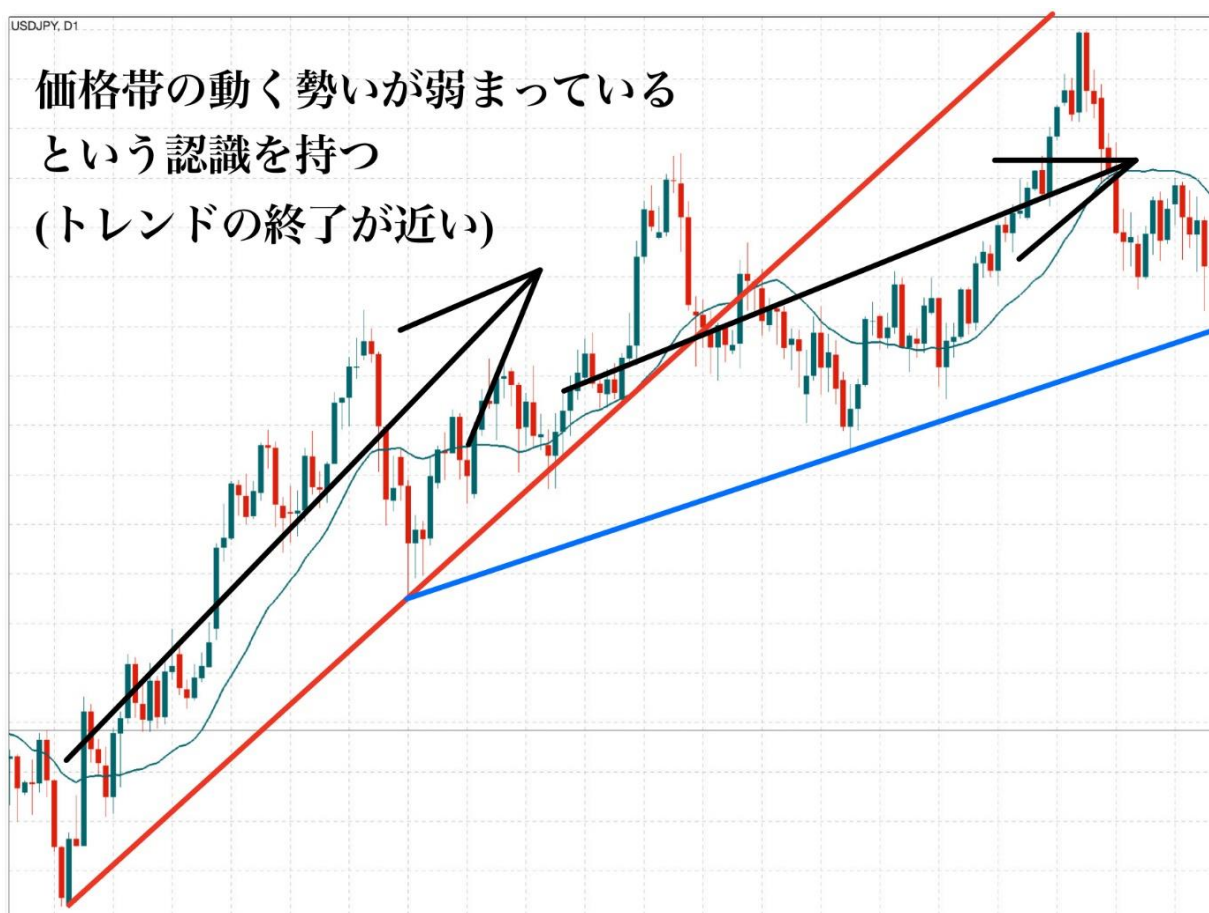
- ・これ以上高値が更新しない可能性がある。
- ・トレンド反転の可能性が上がってくる。
- ・今エントリーするのは危険。

といった事の判断に使えるので、

トレードシナリオを立てる上で非常に重要になります。

日足で

↓↓このようにトレンドが弱まってきて



4時間足や1時足で高値が切り下がりはじめると、**反転の可能性が非常に高くなってきます。**



## ●角度の違うトレンドラインを引く意味は

### ① トレンドの方向を見る為

→今現在の相場の「方向」、「勢い」を知ることは、目先の値動きを狙うのに絶対必要。逆らわないようにして下さい。

まだ、勢いが継続しているのか？弱まってきたのか？

再度勢いが出るか？

それらの判断をするために、大きな塊として認識して下さい。

### ② 角度の違いでトレンドの継続時間を考える為

→角度が急だと、取れる値幅は大きいけどトレンドが長続きせず、**決済までが早い**。

急騰急落のような場合は、ポジションを持ち続けるのは危険です！！

緩やかなトレンドでは長続きするが、値幅を稼ぐには時間が必要。

値動きが緩やかでのんびりポジションを持つことは出来る。

### ③ 割った時点で決済に使う。

→上昇トレンドライン割れで、売り！

下降トレンドライン越えて買い！！

ではありません。

あくまで、**それまで積み上げた利益を確定するサインの1つ**です。

### ④ 環境認識に使う。

→まだエントリーをしても大丈夫か？

これ以上は危険か？

反転の可能性が高いのか？

そういった判断が出来ます。

上昇トレンドが継続していて、方向感はあるけど、明らかにその時間足の勢いが死んできているなら、買いたいですか？？

**大きな流れの方向。**

**小さな流れの勢い。**

**勢いの変化。**

などを組み合わせて考えると、

狙いやすい所や狙いにくい所が見えますよ。

**トレンドラインの傾きや、それまでの価格の動き方を確認することで、トレードの精度を格段に向上できます！！**

(サラリーマンがポジションを持って、そのまま放置したい場合は、なるべくゆったりしたトレンドを狙うようにして下さい。)

(もしくは急な角度のトレンドラインでエントリーし、前回の高値や安値で決済を確実に行うのが手っ取り早いです。ただし、値動きが激しくなるのでリスク管理が出来る自信が無いなら、無理にエントリーせず見送る習慣を付けましょう。)

**トレンドラインの傾きの違いによって、ポジションの保有時間を意識すると利益確定の判断の1つになります。**

## 3-4 ラインの引き直し方

### ① どのタイミングで引き直すのか？

→相場の波が別の時間軸に移行した時。

別の言い方をすると、メインのトレンドラインを割ったり越えたりした後、**上位足で認識できる高値や安値が明確**になったタイミングです。

相場の波は上位足へ波及していくので、そこを意識し、**より大きな流れに変わった時や短期的に勢いが出たタイミング**で修正していきましょう。

一時的にトレンドラインを割ったり、越えた時は 3-3 に書いたような『**角度が違うトレンドライン**』を引くべき所です。

この場合は、トレンドラインの起点から引き直さずに、一時的に勢い**が変わった部分**にだけ引くように。

あくまで、短期的な勢いの変化を認識する為のものです！

## ② 間違った引き直し方

→高値や安値が更新される度に引き直す。

やってしまう事が多いけどラインとして機能しないです。

チャートで手順を説明すると、↓↓図のように



①高値の切り下げ

②安値の更新

これが確認できた時点で

「起点と切り下げた高値」の 2 点を結び、

**この時間足でのメインのトレンドラインが出来る。**

(※トレンドラインは、トレンドが出来てからじゃないと引けないよ。)

ここまでは基本的なトレンドラインの引き方。

で、このメインのトレンドラインを越えた時。(下降トレンドの場合)

↓↓



トレンドラインを越えたー！！と思って、その後に別の高値が出来る  
と、↓↓図みたいに何となく引き直しちゃう。



こんな風に、高値っぽく見えたから引く。

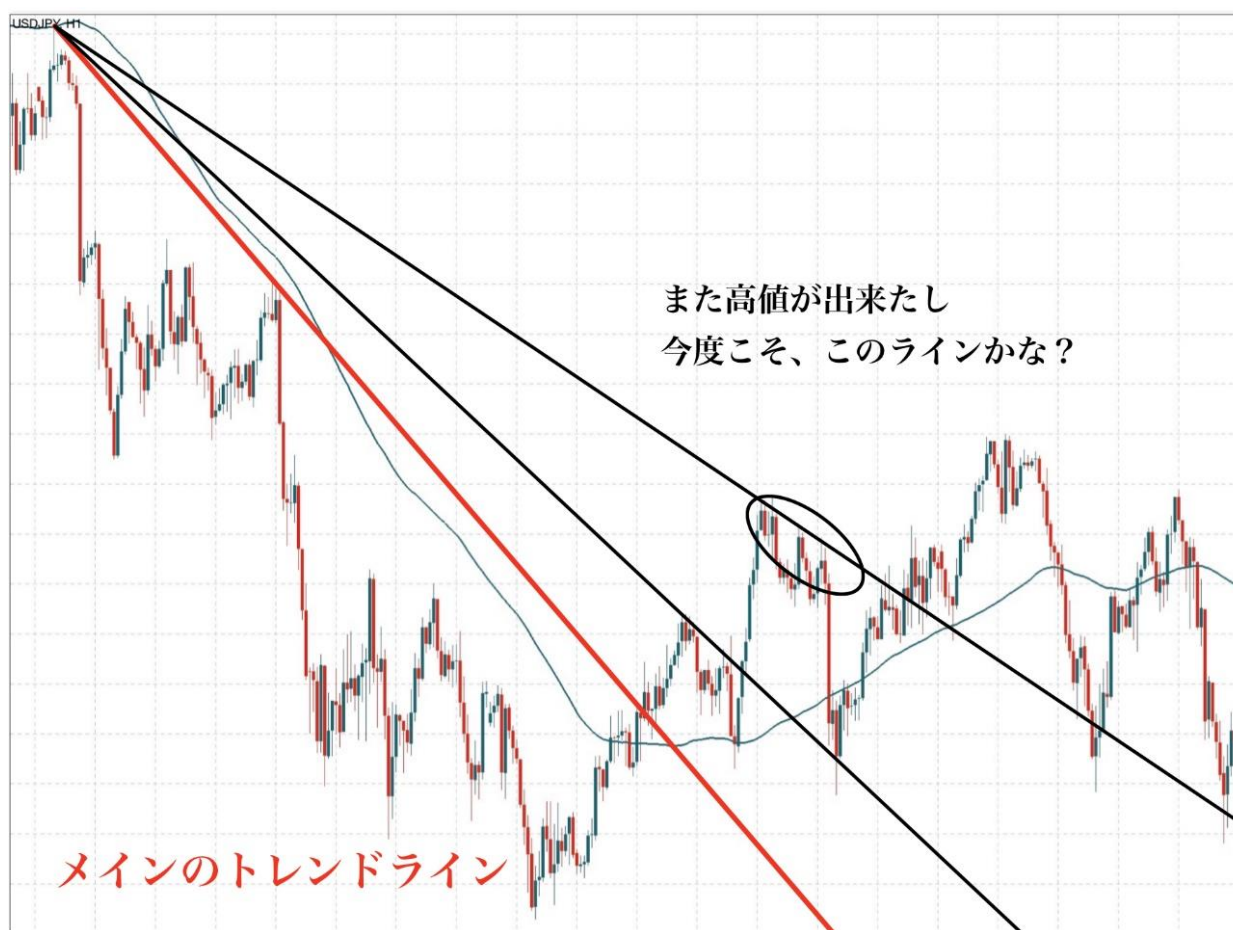
新しく引いたラインをまた越えて、

また高値が出来たように見えるから、

もう1回引き直す！

こんなことをずっと繰り返して全てに線を引いていたら、

何が重要なのが分からなくなってしまいます。





こんな事をやっていると、

- ・いつまで経ってもエントリー出来ない。
- ・買うのか売るのか分からない。
- ・エントリー出来ても、どこまで伸ばせばいいか分からない。
- ・良く分からない所でエントリーを繰り返す。
- ・成績が安定しない。
- ・損切りや利益確定が出来ない。

といった状況に陥って、

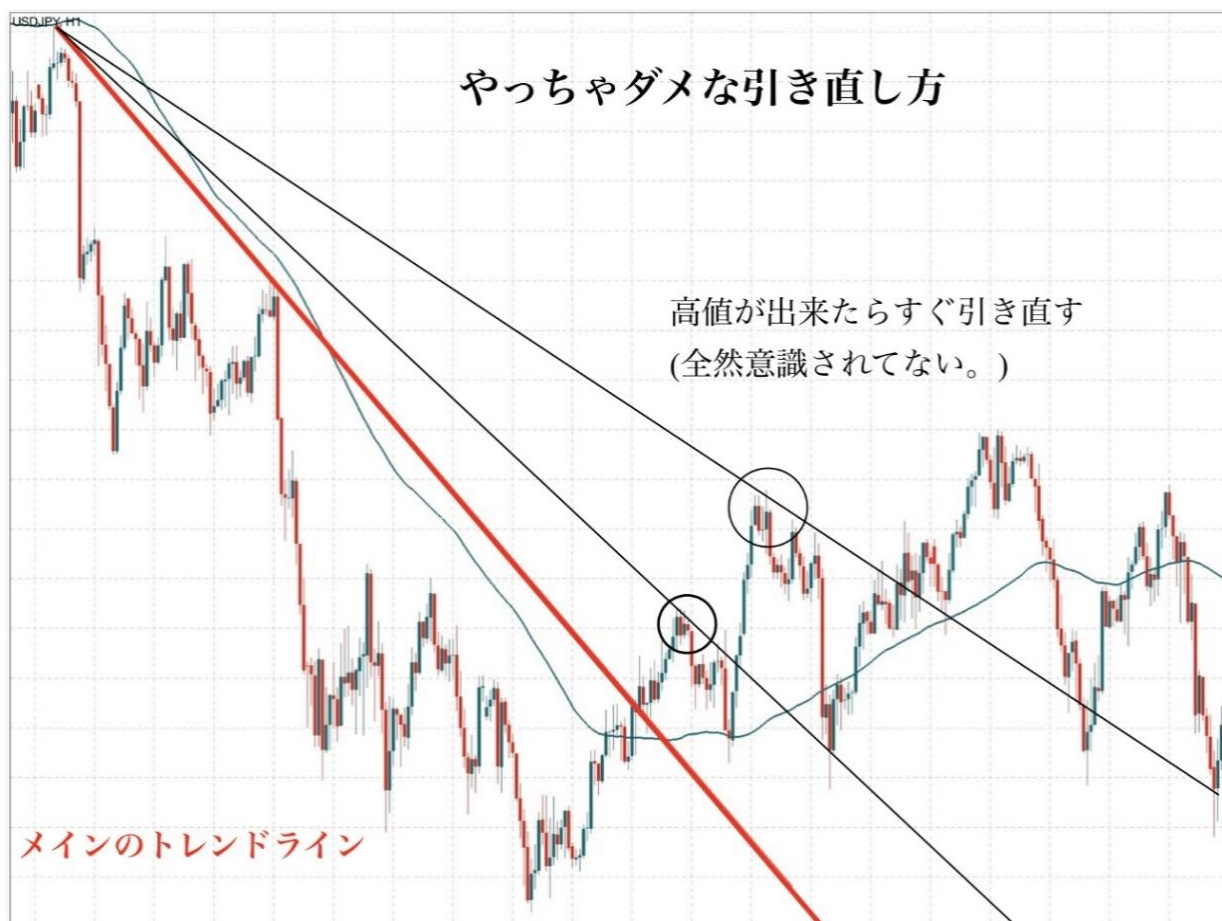
悩みまくって抜け出せなくなっちゃいます！！

チャート上に使えない線が増えていくだけです。

線を引く意味をしっかりと考える習慣をつけましょうね。

## やっちゃダメなトレンドラインの引き直し方をもう 1 回

↓↓



特に FX 初心者は、

ラインが引けそうになるとついつい引いて、

チャートに線をいっぱい引けたから、

テクニカル分析が出来たつもりになっています！！

そうじゃなく、引いた線の意味を考え、

- ・無駄なもの。
- ・認識されにくいもの。

は極力排除しちゃってください！

本当に必要なラインは

- ・ダウ理論に沿ったもの。
- ・上位足で認識できるもの。
- ・傾きの変化を見るもの。

です。

今回見せたチャートは1時間足ですが、

どの時間足についても、基本的なトレンドラインの引き方は同じです。

## 正しいラインの引き方としては

↓↓図のように

1時間の下降トレンド(赤のトレンドライン)が、

4時間足の下降トレンド(青の下降トレンドライン)

に移行した時に起点から引き直します。

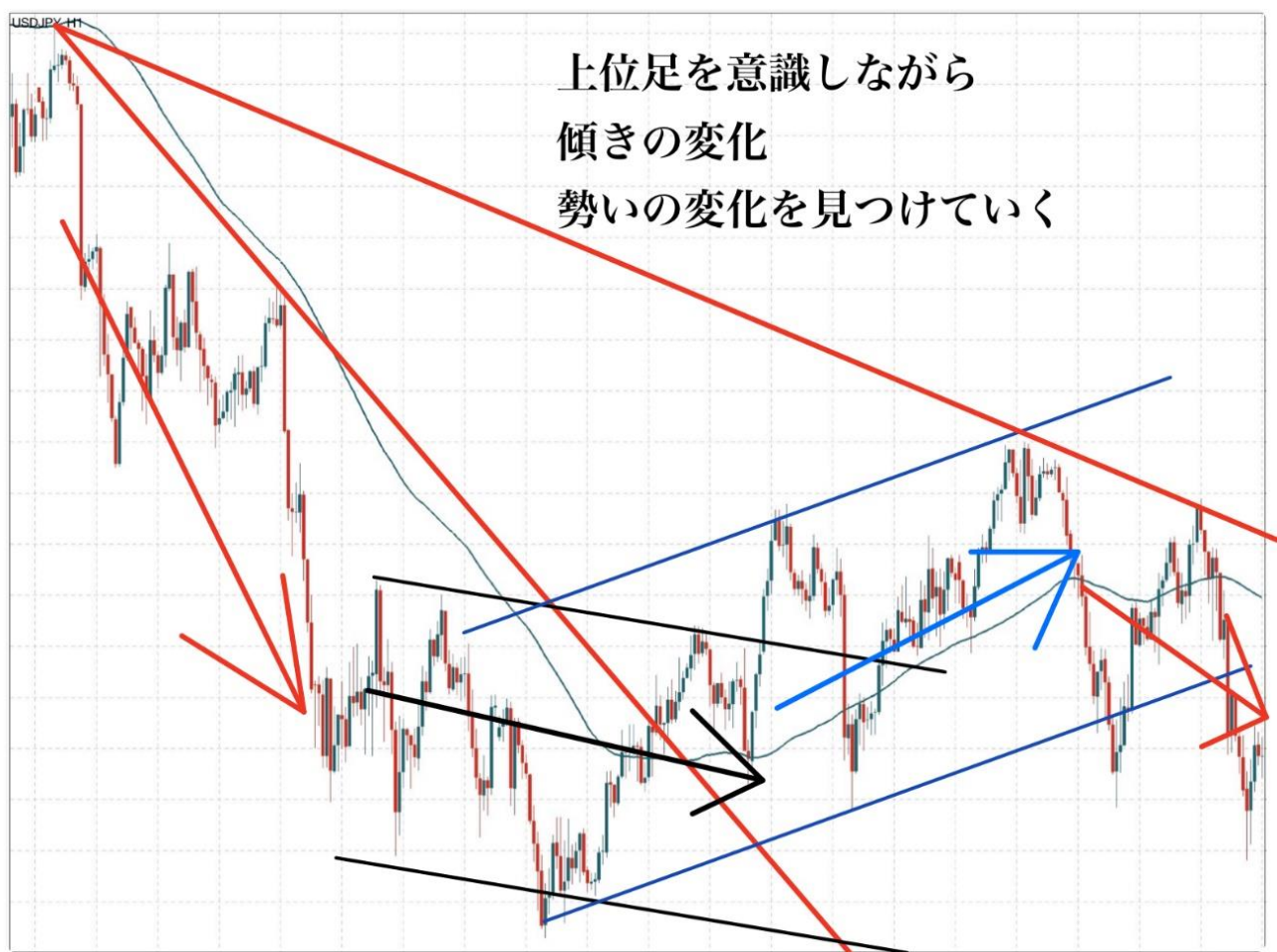


この、1時間足の波が4時間足の波に移行した。というのが認識しにくいかもしれませんが、

## 上位足への移行を見つけるコツは

↓↓図のように

傾きの変化を感じ、再度メインのトレンド方向に向かう場所を見つけていきます。



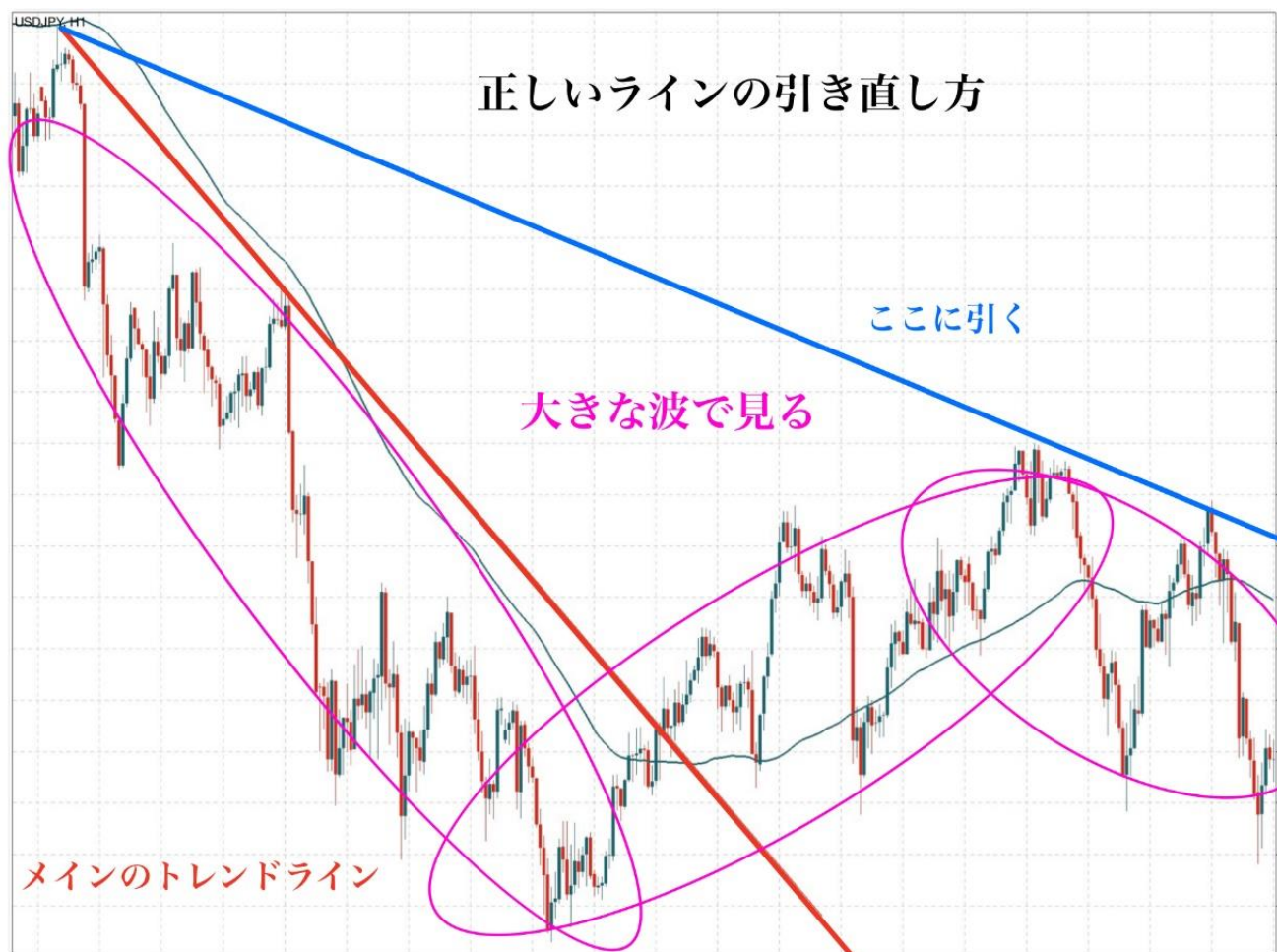
他にも

↓↓図のピンクの○で3か所囲んであるように、

メインのトレンドラインを越えるまでの

ある程度同じぐらいのローソク足の本数。

これぐらいの、時間(横軸)の波で流れを認識する。というコツもあります。



あとは、

↓↓図のようにインジケータの波の大きさに、値動きを認識していくコツもあります。



上位足への移行を認識しやすくする方法として

- ・傾きの変化を見ていく。
- ・同じぐらいの波の幅(ローソク足の本数、時間)を意識
- ・インジケータの波の変化を見る

自分にとって一番分かりやすい方法を選んでね。

## 3-5 トレンド転換をいち早くキャッチ

トレンド転換の判断で気を付ける事。

→ラインを越えたり割ったりしただけではダメ。

→越えたり割ったりした後の**戻し**を確認する必要がある。

本には、

上昇トレンドラインを割ったら売る。

下降トレンドラインを上抜いたら買い。

とか理由も述べずに書かれていますが、

**基本的に「危険な方法」です。**



続きはフルバージョンで。